

## 理事長再就任にあたり

日本創傷治癒学会理事長  
慶應義塾大学形成外科教授

貴志 和生

皆さん、こんにちは。昨年12月より日本創傷治癒学会の理事長を、拝命いたしました貴志和生です。私は、以前に2015年から2019年にも日本創傷治癒学会の理事長を務めさせていただきました。その後、2023年4月から2025年3月まで日本形成外科学会の理事長を務めておりました。この度、再び日本創傷治癒学会の理事長に就任させていただき、本学会は私にとって大変思い入れのある学会ですので、非常に嬉しく思っております。

私の自らの母体となる形成外科学は、外から見える変形すべてを元に戻し、さらに美しくすることを期待されています。このため手術のバリエーションが多彩で、定型的な手術は存在しません。どんな組織欠損の再建にも対応せねばならず、このため形成外科医は、毎回創傷治癒と血管解剖・血行動態を勉強し理解したうえで、外科的基本手技を使って自ら考えて皮弁をデザインし手術を行う必要があります。このルールを外すと、皮弁壊死や創離開、創感染などの合併症に繋がります。形成外科のみならず外科系診療科は創傷治癒を基本としていますし、線維化という観点で考えると、ほぼすべての医学分野は創傷治癒を理解する必要があるといっても過言ではありません。その中で、日本創傷治癒学会は世界に存在する創傷治癒を主なテーマとする学会では、現存する中で一番古くからある伝統のある学会です。

日本創傷治癒学会の素晴らしいところは、多職種の方々が仲良く分け隔てなく、マウントを取りに行くような人はほとんどおらず、お互いの意見を言いあえる環境が出来上がっていることです。私は、自分が教授に就任して以来、組織運営について問われたときには、持ちネタのように日本が誇る十七条憲法の「和を以って貴しと成す」と答えています。漢文で書くと「以和為貴」でこれはほとんど「貴志和生」だからです。ですが、日本創傷治癒学会は「和を以って貴しと成す」をすでに具現化しているのです。このような素晴らしい学会を築き上げてこられたのは、その長い歴史と、集まってきた人たちの人柄の良さなのだと思います。また、創傷治癒を勉強している人に悪い人はいないというのが私の持論です。なぜかという、創傷治癒の研究で例えば創傷治癒過程の組織像を顕微鏡で眺めていると、様々な種類の細胞がそれぞれ調和し、助け合いながら無くなった欠損を直してゆく和の過程を目の当りにすることができるからです。そのメカニズムを研究し勉強している人が、その和の世界から外れようと思うはずがない。



日本創傷治癒学会  
2026.01  
No.151

### ●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

URL : <https://www.jswh.com>

日本創傷治癒学会はこのようにすでに成熟し、出来上がっている学会ですので、私はあえて拡張・発展させようとは思いません。これまでも、団体が大きくなりすぎたがためにまとまりがなくなってしまうたり、内部で関係が悪化したりした学会も少なからず経験しています。ずいぶん昔になりますが、私の尊敬する岡田保典元理事長が、私に「日本創傷治癒学会のいいところは、牧歌的な雰囲気があるところだ」と仰っていたのをしみじみ思い出します。利害を抜きに、学問を愛し、患者さんのために考える、そんな学会を維持し、次の世代に引き継いでゆきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひ致します。

■ 一般社団法人日本創傷治癒学会 令和8年度(2026年度) ■

2025年12月13日に大阪・大阪大学中之島センターにて開催された令和8年度社員総会(評議員会)における決議にて、以下の通りの役員および新評議員4名(\*印)が承認されました。

新体制の下に学会のさらなる発展のため邁進していく所存ですので、会員の皆様にはますますのご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

理事 (◆:理事長) (14名)

|        |      |       |      |      |
|--------|------|-------|------|------|
| 青木茂久 ◆ | 貴志和生 | 紺家千津子 | 佐藤道夫 | 須釜淳子 |
| 竹内裕也   | 西本聡  | 松崎恭一  | 松村一  | 水野博司 |
| 峰松健夫   | 森亮一  | 吉田昌   | 和田則仁 |      |

監事 (2名)

木山輝郎 宮澤光男

事務局幹事 (1名)

荒牧典子

評議員 (77名)

|       |       |        |       |      |
|-------|-------|--------|-------|------|
| 青木茂久  | 赤瀬智子  | 秋田定伯   | 秋野公造  | 荒牧典子 |
| 伊師森葉  | 石井龍之  | 石黒幸子   | 石澤美保子 | 石瀬久子 |
| 石田裕子  | 猪股雅史  | 岩西宏樹   | 大江真琴  | 大貝和裕 |
| 荻野晶弘  | 大島秀男  | 大西俊介   | 岡崎悌之  | 岡部圭介 |
| 小川令   | 落合博子  | 貝谷敏子   | 金城龍学  | 菅野恵美 |
| 貴志和生  | 北村言   | 桐木園子   | 光田益士  | 小柳和夫 |
| 近藤稔和  | 紺家千津子 | 雑賀司珠也  | 酒井成貴  | 坂本道治 |
| 佐藤道夫  | 佐野仁美  | 清水史明   | 調憲    | 菅浩隆  |
| 須釜淳子  | 住岡孝吉  | 高木元    | 高橋潤次  | 高田弘弥 |
| 高谷健人  | 竹内裕也  | 竹原君江   | 田中里佳  | 丹野寛大 |
| 土佐眞美子 | 土肥輝之  | *内藤亜由美 | 仲上豪二朗 | 中村哲也 |
| 並川努   | 西本聡   | 野坂みずほ  | *幅大二郎 | 藤井美樹 |
| *坊岡英祐 | 前重伯壮  | 松崎恭一   | 松村一   | 水野博司 |
| 峰松健夫  | 向井加奈恵 | *麦田裕子  | 森亮一   | 守永圭吾 |
| 森本尚樹  | 山根拓実  | 杠俊介    | 吉田昌   | 四谷淳子 |
| 柳舜仁   | 和田則仁  |        |       |      |

(敬称略・五十音順)



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く) 2021年4月制作 (審)

# Kracie

漢方製剤

薬価基準収載



twice or three times a day 選べるやさしさ



医療用医薬品ウェブサイト「漢・方・優・美」

[www.kampoyubi.jp](http://www.kampoyubi.jp)

スティックで、健やかな暮らしへ

**クラシエ 薬品株式会社**

〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

[文献請求先] 医薬学術統括部 TEL 03(5446)3352 FAX 03(5446)3371

[製品情報お問合せ先] お客様相談センター TEL 03(5446)3334 FAX 03(5446)3374 <受付時間>10:00~17:00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)

■各製品の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

2024年10月作成